



いよいよ受験モード突入 —3年生進路講演会



6月17日(水)7限目に3年生を対象に、ベネッセコーポレーションの大竹さんによる進路講演会が行われました。

今春の大学入試を総括し、来年度の入試日程の確認と学習習慣・生活習慣の見直しを始め、志望校合格に向けてこれからやるべきことについて話していただきました。『8月までに苦手教科を克服する。最後まで諦めない。』という講師の先生の言葉が印象的でした。翌日は3年生の放課後補習の初日でしたが、気持ちを新たに、集中して補習を受ける姿が印象的でした。

3年生の放課後補習(希望講座選択制)始まる

6月18日(木)から3年生の放課後補習が始まりました。実施日はテスト期間を除く毎週月曜日～金曜日、16時45分からの60分間です。希望講座選択制で、7月15日(木)までを弱点補強期間、体育祭終了後は実践力養成期間として実施していきます。

また、6月29日(月)からは放課後自習が始まりました。放課後補習の後、さらに1時間、クラス全員参加の自習時間を設定するものです。「受験は団体戦」と言われます。互いに努力している姿を見て、大いに刺激を受けながら学力を高めていってほしいと思います。

『百聞は一見に如かず』 オープンキャンパスに参加しよう

ほとんどの大学が夏休み期間に、「オープンキャンパス」を行っています。「オープンキャンパス」とは、大学がキャンパスを開放し、高校生・保護者・教員等へ向け、進学相談や模擬授業、資料配布などを行うものです。

大学案内やホームページには載っていない、様々な新しい情報が入手できるなど、各大学で趣向が凝らされています。それぞれの大学の特徴をじかに見て調べられる、またとないチャンスです。ぜひ有意義に活用しましょう。

詳細については、進路資料室で資料を見たり、各大学のホームページを見たりして調べてください。なお、進路資料室にはインターネットに接続した生徒用パソコンが3台あります。利用したい時は、気軽に申し出てください。

夏休みの各種学習セミナー開催—2年生、3年生

この夏休みには、下記の2つの学習セミナーが開催されます。この夏、「ひとまわり成長したい」と思っている生徒の皆さん、参加してみませんか。意欲のある参加者を待っています。

① 「夏トライ!グレード・アップ・ゼミ」

対象：県内の公立高校2年生 約300人

場所：鶴丸高校

期日：8月4日(火)から6日(木) 3日間

これは、より明確な進学意識の涵養を図ることを目的に行われるもので、今年で10回目の開催になります。このゼミでは、国語・数学・英語・地歴・理科の授業に加え、講演や生徒交流会が行われます。

② 「郷中ゼミ」

対象：難関大学(東大・京大・一橋大・東工大・阪大・医学部等など)を目指す3年生

場所：鶴丸高校

期日：8月6日(木)から7日(金) 2日間

今年で8回目の開催で、文理別に国語・数学・英語・理科の授業があり、進路講演会も行われる予定です。

【1学年部より】

高校生活で初めての文化祭はどうでしたか。舞台や展示に頑張っていました。

6月13日（土）。終日生憎の雨模様となりましたが、第53回文化祭が開催されました。鹿児島中央高校入学後、初めての文化祭でしたが、舞台発表や展示作成など各学級で協力して、1年生が頑張っている姿が見られました。準備期間が短く、作品が仕上がるのかと正直心配していましたが、舞台発表や展示作品もそれぞれ完成度が高く、1年生の集中力とまとまりを感じさせられました。

部活動や受験勉強も文化祭と同じ。計画や準備、継続や協力が大切です。

計画 文化祭が6月13日（土）に開催されることが昨年度末には決定していたように、県大会の日程や試験日は前もって分かっているはずです。1ヶ月後や3年後の目標に向けて、準備期間の日数を逆算して具体的に必要な練習や学習を計画しなければ、望ましい成果は得られません。

準備 生徒会本部役員や文化祭実行委員会、生徒会系の先生方など、多くの人が時間をかけて準備をした結果が、あの素晴らしい文化祭になりました。部活動でも基礎練習や走り込み、筋力トレーニングや総合練習、ウォーミングアップをしっかりとやらないと怪我に繋がります。受験勉強を何もしないで試験会場に座っていることは出来るかもしれませんが、結果は明らかです・・・。

継続 文化祭での舞台発表は、演奏や合唱、ダンスや演劇など、繰り返し練習をしないと一つの形にはなり得ません。試合の前日に走り込みや筋力トレーニングを10時間行うよりも、1時間を10日継続した方が効果があるように思われます。試験前夜の一夜漬けで覚えた内容は、1ヶ月後には半分も頭に残っていません。反復練習で身につけたプレーは、最後の勝負の場面で無意識に体が反応しますし、五感全てを駆使して覚えた英文は口から自然と出て来ます。

協力 各学級の準備や後片付け、体育館の会場撤去など、中央生の動きは実にスムーズでした。舞台発表の音響や照明、演劇での訳本や放送、衣装や大道具、展示作品の企画や材料集め、単純作業や設営など、多くの人の手によって文化祭が成し遂げられました。部活動の県大会は運営、審判、報道など多くの人が大会を支えており、裏方の部員達が選手を後押ししてくれています。受験でも、友人同士の励まし合いや、学級・学年全体の雰囲気、結果を左右すると言えます。保護者の協力や励ましが、力になることは言うまでもありません。

文化祭は日常生活に彩りを添える学校行事ですが、毎日行われません。

文化祭は楽しい時間でした。生徒会本部や文化祭実行委員の皆さんは、本当に頑張ってくれていましたが、毎週末に文化祭があったらどうでしょうか。それが音響や照明、音楽家や劇団など、「プロの仕事」です。文化祭や体育祭、クラスマッチや修学旅行など、日常生活に彩りを添えてくれる学校行事ですが、決して毎日開催されません。「平凡な毎日の生活」に時々現れる「非日常的な出来事」が、我々に感動を与えて日常を輝かせるのだと思います。部活動も進路実現も、「短期決戦のイベント」ではありません。「地味で時には苦しく思えることの積み重ね」こそが、「大きな成果」を生むものです。（文責・廣瀬）

【第2学年】

あらためて『進路の手引き』を読んでみよう！

注目記事 (その2)

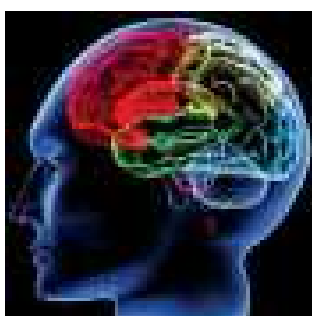
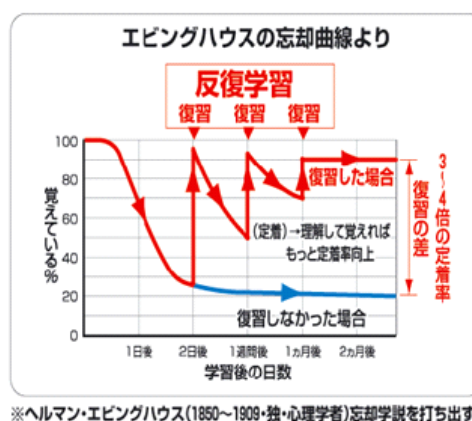
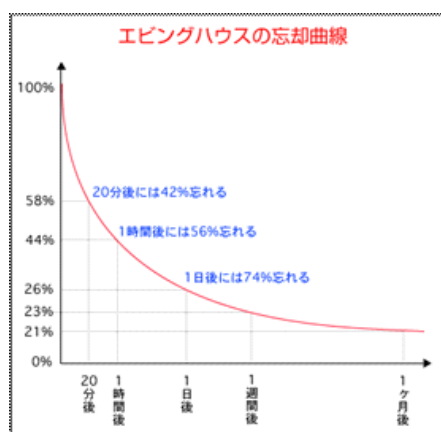
23ページ

<参考>「エビングハウスの忘却曲線」

記憶の忘却についての研究を行った19世紀のドイツの心理学者ヘルマン・エビングハウス (Ebbinghaus, Hermann, 1850~1909) の「エビングハウスの忘却曲線」が下の図である。

彼の研究によると、20分後には42%、1時間後には56%を忘却し、1日後には74%を忘却し、1週間後には77%を忘却し、23%しか覚えていないことになる。但し彼は次のようにも述べている。「1度覚えたものは最初の24時間を乗り越えれば、1ヶ月後も5%くらいしか忘却しない。」

大切なのは最初の20分。
そして1時間！ここをいかに過ごすかが勝負！



忘却を防ぐために… (例 単語の覚え方)

[1日目] 単語を10コ(書きながら+ブツブツ言いながら+何回も繰り返し…)暗記に努める!

[2日目] 昨日の10コを覚えているか、復習をしてから、新たに10コ(//)暗記に努める!

[3日目] 昨日までの20コを覚えているか、復習をしてから、新たに10コ(//)暗記に努める!



知識(暗記事項)を確実に頭の中に叩き込むためには、以前に覚えた知識を復習しながら、次々と新しい知識を積み重ねていこう!

書きながら+ブツブツ言いながら+何回も繰り返し…

コツコツ努力

【3学年部から】

1 51期生の現状と課題

(1) 受験生らしくなった者もいるが…。

《文化祭の盛り上がり》6月前半は13日(土)に行われた文化祭に向け盛り上がった。各クラスでそれぞれの販売物を仕入れ、講堂にて「Central ダンちゃん」という「ショッピングモール」を展開。各店舗の飾り付けは前日12日に行ったが、限られた時間・予算の中で最大限の工夫をし、当日は券を買えないお客様もいるほどの盛況を呈した。全体を仕切ってくれた生徒会役員の活躍もめざましく、学校・学年全体が一丸となってそのパワーを見せてくれた。

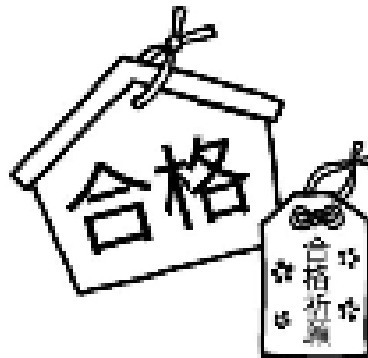
《祭りは終わった》その後の学年朝会での「祭りは終わった」旨の話を覚えているだろうか。学校行事に積極的・意欲的に取り組むときは取り組み、そして受験勉強では、精進するときは精進する。素早く切り替えてくれることを期待したわけである。確かに、授業時の集中の度合い、雰囲気は全体的に良くなった。教室全体の持つ気迫、集中のオーラは確実に高まっている。このことは評価したい。しかし一方、個々の者をよく観察するとさほどでもない、緊張感の抜けた様子の者が依然としていることに気づく。いったい、いつになったら目覚めるのか。一刻も早く変貌してほしいと願う。そしてクラス全体、学年全体で受験のための静粛・厳粛な雰囲気作りを行ってほしい。

(2) 放課後補習、始まる。

6月18日(木)から、いよいよ放課後補習が始まった。目標は「苦手教科の克服」であり、今後の受験スケジュールを考えると、この補習はその最後のチャンスと言って良い。もちろん、先日進路主任・西中間先生が述べられたように、「15時間そこそこですべてが克服できるわけではない」。あくまで苦手克服のきっかけを示しているに過ぎない。ということは、そこから先、何かしら「自分だけの勉強」を工夫しなければならない、ということである。授業の予習や課題が宅習の大部分を占めているとすれば、それはまだ受験生ではない証拠である。「やらされる」だけの学習ではなく、「自らやる(各自の問題点を発見し、主体的に克服する)」学習を展開してほしい。先月と同じことを繰り返すが、国公立大に合格したいなら最低でも週30時間の学習が必要である。

2 7月の進路関係行事

- (1) PTA 研修視察：九州大学(1日、希望する保護者)
- (2) 進路検討会(7, 8日)
- (3) 小論文模試(7日)
- (4) 進研記述模試(11, 12日)
- (5) 夏季課外・三者面談(21~31日)
- (6) 全統マーク模試(25, 26日)



7, 8日の進路検討会は、生徒諸君が直接参加するものではないが、それぞれの進路志望やこれまでの対外模試成績などをもとに、先生方が諸君一人一人の進路について検討する、非常に重要なものである。この結果から21日以降の三者面談が展開される。親子でも事前によく希望の進路について話し合い、明確な意識を持って臨んでいただきたい。

7日には小論文模試が行われる。自身の志望進路に関する本は読んでいるだろうか。後期試験寸前にあわててもどうしようもないのが小論文である。忙しい毎日だが、折を見て知識や考え方を蓄積しておく必要がある。どんな本を読んでおけばよいか、近日中に紹介する予定である。

その他、進研記述模試・全統マーク模試、二回の模試が予定されている。大変ハードな日々である。しかしながら、きついのは全国50万のライバルも同じ。諦めた瞬間君の負けは確定する。歯を食いしばっても戦い抜きたい。そのため、進路指導部では新しい企画「放課後自習」を立案した。他校では普通に行われていることに過ぎないが、是非この機会にクラスで一致団結し、励まし合いながら受験勉強に取り組んでいこう。夏を制する者は受験を制す。是非、この夏を、全力で制してほしい。